

第67回秋田県中学校総合体育大会 柔道大会要項

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 秋田県中学校体育連盟 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会
- 3 主管 秋田県中学校体育連盟柔道専門部
- 4 後援 秋田県中学校長会 秋田県 秋田市 (公財)秋田県体育協会 秋田県柔道連盟 (一財)秋田市体育協会 秋田魁新報社 NHK秋田放送局 A B S秋田放送 A K T秋田テレビ A A B秋田朝日放送
- 5 会期 平成30年7月14日(土)～16日(月)
 - 7月14日(土)
 - 8:00 開館 1階玄関
 - 9:00～12:00 会場準備 大道場他
 - 12:45～13:30 団体試合受付 1階ロビー
 - 13:30～14:00 郡市専門委員長会議 第1・2会議室
 - 13:00～14:00 非公式計量(団体試合出場者) 小道場
 - 14:00～15:00 公式計量・柔道衣点検(団体試合出場者) 小道場
 - 15:00～15:30 監督会議 小道場
 - 7月15日(日)
 - 7:00 開館 役員 1階玄関
 - 7:30 開館 選手・監督・保護者等 2階玄関
 - 8:20～ 8:50 審判会議 遠的弓道場
 - 9:00～ 9:25 開会式 大道場
 - 9:30～ 競技開始(男女団体試合) 大道場
 - 9:50～ 団体戦終了 表彰式(男女団体試合) 大道場
 - 13:00～14:30 個人試合受付 1階ロビー
 - 14:00～15:00 非公式計量(個人試合出場者) 遠的弓道場
 - 15:00～16:00 公式計量・柔道衣点検(個人試合出場者) 遠的弓道場
 - 7月16日(月)
 - 7:00 開館 役員 1階玄関
 - 7:30 開館 選手・監督・保護者等 2階玄関
 - 8:20～ 8:50 審判会議 第1・2会議室
 - 9:30～ 競技開始(男女個人試合) 大道場
 - 15:00～ 表彰式(男女個人試合)・閉会式 大道場
- 6 会場 秋田県立武道館 〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄2-2 TEL018-862-6651
- 7 競技種目 男子団体試合、女子団体試合、男子個人試合、女子個人試合
- 8 参加資格
 - (1) 学校教育法第1条に規定する中学校に在籍し、本連盟に加盟している中学校の生徒で、校長が参加を認めた者。
 - (2) 参加生徒は、学校代表としてふさわしく、また、事前に健康診断を受け、日常健康観察の結果異常のない生徒であること。
 - (3) 保護者の同意を得た生徒であること。
 - (4) 過年齢生徒の参加については、体力的・技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達した年度まで出場できるものとする。

9 郡市参加枠

	鹿角	大館 北秋	能代	山本	男鹿 潟上 南秋	秋田	本荘 由利	大曲 仙北	横手	湯沢 雄勝	計
男子団体	0	2	2	1	2	4	2	3	2	1	19
	県中体連が定める各地区1/2の通過率とする。										
女子団体	参加枠数を設定しない。資格を満たし、大会参加を希望するチームとする。										
男子個人	0	2	2	1	3	5	2	3	2	2	22
女子個人	0	2	2	1	3	4	2	2	2	2	20

※個人試合は階級の総数が男子22人以下、女子20人以下であれば、全員が県大会に出場できる。

- 10 引率者・監督等
- (1) 引率責任者及び監督は出場校の校長・教員（非常勤を除く）とする。ただし、当該校に部活動がない個人種目については、別紙「秋田県中学校体育連盟主催大会の引率・監督細則」に基づき、特例を認める。
 - (2) コーチは校長が認めた者とする。ただし、年度当初に秋田県中体連柔道専門部に登録をした1校1名までとする。また、校長・中学校教職員が他校のコーチとしてベンチに入ることは認めない。なお、監督・コーチは全日本柔道連盟からの「試合場におけるコーチの振る舞いについて」に従って行動すること。
 *内部コーチ…当該校職員（非常勤は除く）。
 *外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
 - (3) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

- 11 参加人員
(チーム編成・体重区分)
- [男子団体試合]
- (1) 1チームの人員は、監督1名（校長・教員）、コーチ1名以内、選手3名以上5名以内、補欠3名以内とする。
 - (2) 選手の編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順に構成する。補欠選手を繰り入れる場合も、大将以下順次体重順に構成すること。また、一度退いた選手は再出場できない。
 - (3) 同じ体重の選手がいた場合は、申込書に記載された通りに配列する。また、同じ体重の選手を補欠から繰り入れる時の配列は自由とする。
 - (4) 上記内容に違反があった場合、チームを失格とする。

- [女子団体試合]
- (1) 1チームの人員は、監督1名（校長・教員）、コーチ1名以内、選手2名以上3名以内、補欠2名以内とする。
 - (2) 選手の編成は男子に準ずる。
 - (3) 上記内容に違反があった場合、チームを失格とする。

- [男子個人試合]
- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 50kg級 (50kg以下) | (2) 55kg級 (50kg超55kg以下) |
| (3) 60kg級 (55kg超60kg以下) | (4) 66kg級 (60kg超66kg以下) |
| (5) 73kg級 (66kg超73kg以下) | (6) 81kg級 (73kg超81kg以下) |
| (7) 90kg級 (81kg超90kg以下) | (8) 90kg超級 (90kg超) |

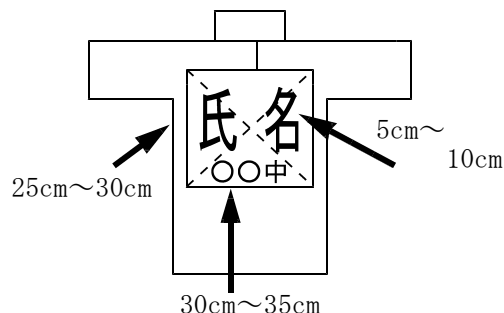
- [女子個人試合]
- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 40kg級 (40kg以下) | (2) 44kg級 (40kg超44kg以下) |
| (3) 48kg級 (44kg超48kg以下) | (4) 52kg級 (48kg超52kg以下) |
| (5) 57kg級 (52kg超57kg以下) | (6) 63kg級 (57kg超63kg以下) |
| (7) 70kg級 (63kg超70kg以下) | (8) 70kg超級 (70kg超) |

- 12 競技規則
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018年施行の新ルール）及び国内における「少年大会特別規定」による。
 - (2) 試合時間は3分とする。ゴールデンスコアの試合時間は勝負が決まるまでとする。
 - (3) 「優勢勝ち」の判定基準は次の通りとする。
 - ①団体試合の個々の試合においては、「技有」以上又は「僅差（「指導」の差2）」とする。優劣の成り立ちは以下のとおりとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」

- チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体試合と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人試合と同様とする。代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
- ②個人試合は「技有」以上又は「僅差（「指導」の差2）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦での判定規準は、「技有」以上又は「指導」の差がついた場合とする。両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
 - (4) 団体試合においてチーム間の得点差がない場合は次の通りとする。
 - ①任意の選手で代表戦を行う。
 - ②代表戦の判定規準は「技有」又は「指導2」とし、得点差がない場合は延長（ゴールデンスコア）を行い勝敗を決する。
 - (5) 白色の全柔連認定柔道着上下・帯を着用すること。段位証書が交付されている有段者は男女共に黒帯を用いること。
 - (6) ゼッケンの着用については次の通りとする。

- ①柔道衣にゼッケン（学校名、名字）を縫いつけること。〇〇中の中の文字は無くても良い。
- ②布地は白（晒、太綾）。
- ③縦25cm～30cm、横30cm～35cm。
- ④名字は上側2/3、学校名は下側1/3。
- ⑤書体は太字ゴシック体、又は明朝体。
- ⑥男子は黒色文字、女子は赤色文字。
- ⑦襟から5cm～10cm下部の所に縫いつけること。（対角線にも強い糸で縫いつけをすること）



- (7) 女子の試合者の上衣の下に、次のどちらかを着用しなければならない。
 - ①相当な丈夫さがあり、下ばきの中に入る十分な長さのある、白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ。
 - ②白色又は白に近い無地の半袖のレオタード。
- (8) 「脳震盪対応について」選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

13 競技方法

[男子団体試合]

トーナメント戦を行う。勝ちチームは次の順により決定する。

- (1) チーム間の勝ち点による。
- (2) (1)において同等の時には、勝ちの内容により決定する。
- (3) (2)において同等の時には、代表戦を行う。
- (4) (3)において得点に差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、勝敗を決する。

[女子団体試合]

トーナメント戦を行う。勝ちチームは[男子団体戦]に準じる。

[男子・女子個人試合]

- (1) 各階級ごとに、トーナメント戦を行う。ただし、出場者数が5人以下の階級はリーグ戦を行う。
- (2) 女子個人戦のベスト4以上は、リーグ戦を行う。
- (3) リーグ戦の順位は、次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - ② ①において同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ③ ②において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ④ ③において同等の場合は、負け数の合計による。
 - ⑤ ④において同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - ⑥ ⑤において同等の場合は、決定戦を行う。（3選手同等の場合は、3名による抽選によるトーナメント戦を行う）。
- (4) トーナメント戦・リーグ戦で得点に差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を行い勝敗を決する。

14 表彰 団体試合は、第1位から第3位（2校）までを表彰する。優勝チーム全員に賞状を授与する。個人試合は、上位4名を表彰する。

15 参加料 参加者1名につき2,000円とする。

16 参加申込 (1) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、平成30年6月26日(火)必着で各地区専門委員長に届けること。
地区大会終了後、3日以内に所定のファイルに入力の上、Eメールを次のアドレスまで送付すること。（添付ファイルにて）

秋田市立御野場中学校 伊藤 智泰

TEL 018-839-0681 FAX 018-839-0682

E-Mail itou-tomoyasu@edu.city.akita.akita.jp

- (2) 申込書提出後、選手の病気・負傷等でやむを得ない場合に限り、以下の手続きを経て出場選手の変更を認める。

- ①団体試合申込書提出後、選手の病気負傷等で選手変更を必要とする場合は、当該校長から理由書（書式自由）と新たな申込書を、大会前日までに該当する地区の専門委員長に届けること。地区の専門委員長は、大会当日の専門委員長会議の席上でその旨を申し出て、県専門委員長まで必要書類を届け出ること。
- ②個人試合申込書提出後、選手の病気、負傷等で地区代表選手を変更する場合は、出場を辞退する当該校長からの辞退届（書式自由）と、新たな推薦選手の所属する学校からの出場申込書を、大会前日までに該当する地区の専門委員長に届けること。地区の専門委員長は、大会当日の専門委員長会議の席上でその旨を申し出て、県専門委員長まで必要書類を届け出ること。

- 17 抽 選 平成30年7月2日(月)、秋田県立武道館会議室において9時00分より行う。各地区の専門委員長が代表で抽選を行う。各地区専門委員長は該当する地区の申込書をすべて持参すること。
- 18 東北(全国)大会出場枠 (1) 男子・女子団体試合の優勝チーム、男子個人試合と女子個人試合の各階級の優勝者を全国大会の秋田県代表とする。
(2) 男子団体試合の上位4チーム、男子個人試合の各階級上位4名を東北大会の秋田県代表とする。
(3) 女子団体試合の上位2チーム、女子個人試合の各階級上位2名を東北大会の秋田県代表とする。
- 19 計 量 (1) 団体試合
①公式計量は1回である。(再計量は認めない)
②公式計量は本大会で指定された時間内で終了すること。
③公式計量の服装は、男子は下ばきのみ、女子はTシャツ又はレオタードと下ばきのみを着用とする。(下着は認める。包帯、サポーター等はいっさい認めない)
※計量の結果は、監督会議で各チームに通知する。
(2) 個人試合
①公式計量は1回である。
②公式計量は本大会で指定された時間内で終了すること。
③公式計量の服装は、男子は下ばきのみ、女子はTシャツ又はレオタードと下ばきのみを着用とする。(下着は認める。包帯、サポーター等はいっさい認めない)
④別室計量が必要な者(③の服装を着用しない)はあらかじめ申し出ること。
⑤定められた階級の体重区分にない者は失格とする。
- 20 その他 (1) 監督・コーチの服装は審判員に準じた服装とする。(Yシャツ、背広など)
(2) 12競技規則(7)にある、上衣の下に着用する女子の衣類をしっかりと確認すること。
(3) 各校監督の責任において、指定された試合会場フロアに登録選手・監督・コーチ以外の者を入れないこと。違反のあったチーム・個人は失格とする。
(4) 個人情報の取り扱い
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、別紙「秋田県中学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した情報は、競技大会の資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・報道取材・記録発表(記録集)等のほか、競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。しかし、同意が得られない事情がある場合は、各郡市中学校体育連盟を通して、秋田県中学校体育連盟及び専門部会へ連絡をし、適切に対処する。特に申出がない場合は上述内容を承諾したものととする。

21 連絡先

〒012-0867 湯沢市南台6-1

湯沢市立湯沢南中学校

TEL 0183-73-5145 FAX 0183-72-1184

E-mail itachoko46@gmail.com

秋田県中学校体育連盟柔道専門部 委員長 菊地 至